

三中だより

三崎中学校校歌

珠洲の海原 そよ風渡り いま朝日の子 光のうちに
玉も白たま より来る岸辺 望みあふれて いそしみはげむ
我等が 三崎中学校

校訓 自治 親和 責任

学校教育目標

自立して学び、
人と協働して
貢献できる生徒の育成



令和5年10月26日 第6号 珠洲市立三崎中学校

珠洲市立三崎中学校

検索

数学を学ぶのは、なぜ？

校長 濱野 裕之

先日、ある人から「数学はなぜ、勉強しなければならないのですか？ 数学は、小学校の勉強だけでよくないですか？ 何の役に立つのですか」と聞かれました。

たしかに、勉強は、するのが当たり前になっていて、勉強をする目的や意義について考えることは、あまりありません。何の役に立つのかわからず、嫌いな教科を学ぶ意味とは何でしょうか？

この疑問に答えてくれているテレビ番組がありました。「チョコちゃんに叱られる」という番組です。

「数学なんて社会に出て使う機会なんて無いんだから勉強するだけ無駄」といわれたりしますが、実は数学で身に付けた論理的思考は、私たちの普段の生活で何気なく使っているものです。（略）例えば、カレーを作る場面を想像してみましょう。

まず玉ねぎを切って鍋に入れ、次にじゃがいもを切って鍋に入れ、さらににんじんを切って鍋に入れ、最後に肉を切って鍋に入れ、と「材料を切って鍋に入れる」という行為を何度も繰り返すとするととても面倒ですよ？ そこで、普通の人は最初に全ての材料を切ってしまってからまとめて鍋に入れることで手間を省くはず。

実はこれは因数分解なのです。 $\text{カレー} = \text{切った玉ねぎ} + \text{切ったにんじん} + \text{切った肉}$
は、まとめると、 $\text{カレー} = \text{切った}(\text{玉ねぎ} + \text{にんじん} + \text{肉})$
と表すことができ、これは因数分解そのもの。

因数分解は足し算や引き算の中で同じものを集めて掛け算の形にすっきり変えるもの。このように因数分解を学ぶことで同じような作業をまとめる力がついて効率よく仕事が出来るようになるのです。

つまり、数学を学ぶことの意義は、計算力がつくことではなく、論理的に考える力が知らず知らずのうちに鍛えられるということだったのです。

では、嫌いな教科を学ぶ意味とは何でしょうか？ 嫌いなものを無理して学んでもよいことはないのではないのでしょうか？

この疑問には、プレパトというテレビ番組がヒントをくれました。水彩画のランキングを競うコーナーで描くテーマを与えられた時、出演者が「人物を描くのが苦手だ」「風景画が嫌いだ」ともらしていました。1位・2位を争う人でも、苦手なテーマがあるのだと驚きました。しかし、苦手なテーマに無理やりにでも取り組むことで、1位に輝いた出演者の方が次のように話していました。

強制的に競わされることで、負けず嫌いが発揮されて、描くたびに本当に上達しているなって思うんです。私も出てなかったら、ここまで上達していなかっただろうと思うので、本当に自分の知らなかった才能を引き出してもらっている番組です。

つまり、苦手な嫌いな教科を学ぶ意義とは、自分の中に眠っている未知の力や才能を引き出すことなのです。

人間ですから、苦手な嫌いなものがあるのが当然です。しかし、苦手なものを遠ざけるのではなく、前向きに挑戦することで、自分の力が引き出されたり、考え方が広がったりするはずですよ。実際、皆さんが現在、各学年で取り組んでいる総合的な学習の時間を覗いてみても、自分の知らなかった才能が引き出されているのではないと思われる作品や活動の場面がいくつもありました。文化祭での学習発表を今からとても楽しみにしています。

三崎中後期生徒会

10月4日(水)

10月2日(月)から、後期生徒会が、始動しました。9月21日(木)に行われた役員選挙では、候補者の1人1人がしっかりと自分の選挙公約を述べることができました。さらに、10月4日(水)には、後期の生徒総会が行われ、質問や意見が多く出され、活発な討議となりました。



生徒総会の様子

【後期生徒会目標】

雲外創天

～18人の笑顔と協力で Next Stage!!～

目標の中の Next Stage とは、具体的には、どういうことですか？

Next Stage とは、授業やさまざまな場面で成長して、次の段階に進めるという意味です。

【設定理由】

『雲外蒼天』には「困難を乗り越えた先には希望がある」という意味があります。皆さんにも学校生活の中で嫌なこと・つまらないことがあると思います。その困難を乗り越えるためには18人で協力し、何かを成し遂げることやみんなが自然に笑顔になれるような雰囲気が必要だと考えました。また、『雲外蒼天』の『蒼』を『創』の字にしたのは、みんなで三中を創り、次のステージに進めるようにしたいと考えたからです。

三崎中学校体験入学

10月23日(月)

みさき小学校の6年生が三崎中学校での体験入学を行いました。中学校の授業見学と体験授業、部活動体験を行いました。小学生は「部活体験はとても楽しくて、どの部活に入ろうか、迷っています。」「中学生の皆さんがやさしく教えてくれたので、楽しく活動ができました。」などの感想を発表してくれました。中学生からは「小学生が思っていたよりも素早く行動していた。」「小学生は、やり方を教えると、すぐにできるようになったので、すごいと思った。」という感想が聞かれました。三崎中学校では、来年度皆さんが、元気に入学してくれることを楽しみに待っています。



野球部



ソフトテニス部



相撲部



バスケットボール部

作品コンクール 受賞 おめでとう！

- ★おじいちゃんおばあちゃんの似顔絵コンクール
銅賞：畠田 彩羽
- ★読書感想文コンクール
特選：高木 千穂 (県コンクール出品)
入選：知家 日菜乃, 畠田 彩羽
- ★日中韓国際青少年書道絵画交流展
最優秀賞：前 結音 (書道)
銀賞：瀬戸 愛生 (書道)

オルカウインド演奏会

10月6日(金)

みさき小学校でオルカウインドによる演奏会と楽器体験教室がありました。演奏会では、クラシック曲や皆さんのリクエスト曲などたくさんの曲を演奏してくださいました。45分間の演奏でしたが、あっという間に終わってしまいました。

最後のアンコール曲「アイドル」は、小中学生ともノリノリで聴いていました。



演奏を聴いて私は、あんなに難しい楽器をよく簡単に演奏できるなと思いました。理由は、楽器体験の時に初めてトランペットやトロンボーンを吹いてみて、息が続かず一定の音を保つことができなかつたし、上手く音を出せなかつたからです。

1年 知家 天乃

すごく迫力があって感動しました。ジョーズは1年生の音楽の授業で学習したけど、CDでの音楽とは全然違ってすごかったです。低音からゆっくりと始まるので、怖い雰囲気すごかったです。

2年 畠田 彩羽

今回初めて楽器体験教室があり、新鮮な気持ちでした。トランペットやトロンボーンは初めて触れる楽器だったので、最初は変な音が出て難しかったです。でも、音を出していく中でコツを掴んで安定した音が出せるようになったので嬉しかったです。貴重な体験ができて良かったです。3年前 結音

演奏を聴いて、USJメドレーがすごかったです。特にジョーズはサメが近づいてくるかのようで臨場感がありました。また、リクエスト曲では、普段聴いている音とは少し違いおもしろさがありました。音楽を生で聴くことができ良かったです。

3年 高木 千穂

楽器体験の時、トロンボーンは音が出たけど、トランペットはマウスピースが上手くなりませんでした。けれど、体験はとても楽しかったです。

1年 竹森 悠貴

体験では、打楽器の様々な奏法を習いました。管楽器を吹く体験で、特にトランペットがいいなあと思いました。マウスピースはトロンボーンよりも小さく難しかったのですが、とてもいい音が鳴り、うれしかったです。

1年 竹澤 奈乃花

クラシックの曲はほとんど知っていたので楽しめたし、リクエストの曲などもあって楽しめたのでよかったです。また機会があったら他の曲の演奏も聴いてみたいです。

2年 松井 颯志

トロンボーンやトランペットなど、これまで触ったことがない楽器を吹いてみて、とても楽しかったです。小太鼓で習ったことは文化祭の演奏に生かせるように頑張りたいです。体験してみて、楽器の重たさや難しさがわかりました。

2年 前 颯人

演奏では、僕が結構知っている曲がいっぱいあつてすごく嬉しかったです。USJメドレーでは、聴いたことがある曲ばかりでちょっと感動しました。中でもマリオの曲が小さいころからなじみのある曲だったので心に残りました。

3年 竹中 猛

11月の行事予定

1日(水)	学校公開ウィーク(～7日)
5日(日)	海鳴祭(文化祭)
6日(月)	振替休業日(11月6日分)
12日(日)	石川県PTA連合会地区別研究指定発表会
16日(木)	計画訪問B
17日(金)	学力テスト(3年生)・進路説明会
20日(月)	学力テスト(3年生) 珠洲市中学生英語スピーチコンテスト

ご芳志

ありがとうございます

みさき小学校5年生より『お米』
竹森さん(引砂)より『お米』

★給食の食材として
おいしくいただきました。



全校道徳～メディア使用について

10月12日(木)

みさき小学校の坂本教諭に中学校で道徳の授業をしていただきました。小学生のメディア使用実態を表したグラフをもとに、メディアと上手に付き合うためにはどうすればよいのかについて考えました。普段とは違い、小学校の先生による全校生徒での授業となりましたが、意欲的に課題に取り組むことができました。

メディアのデメリットを考えることは大切だと思います。家に帰ったらすぐスマホを触るというルーティンを変えようかなと思いました。

2年 瀬戸 愛生

これまでは、メディアの使い過ぎは良くないことしか言われてこなかったけれど、上手に付き合うためにはどうすればよいかを考えたいことが新鮮だった。

3年 知家 日菜乃

時間の使い方を自分で考えることで、メディアとの付き合い方を考えることができました。やるべきことをやってから、スマホを使いたいと思います。

1年 新出 海羽

メディアの使い過ぎは良くないと思った。自分はメディアを結構使うから、ちょっと減らそうと思った。

3年 泉 心翔

「悪いのはメディアではなく、自分だ。」という言葉に、共感した。

3年 干場 湧仁

メディアの使用時間を減らすために、新しいことに挑戦するなどして、自分でコントロールすることが大切だと思った。

3年 川上 華凜



メディアルール作りの熟議

10月12日(木)

道徳の授業で考えたことをもとに、ホワイトボードミーティングにより、メディアルールについての熟議を行いました。自分の考えをはっきりと発表したり、グループの考えをしっかりと聞いて質問したり、一人一人が自分の事としてとらえて討議をすることができました。熟議の結果出た意見は次の通りです。

- ・寝る前の30分は、画面を見ない。
- ・先にやるべきことができるように、理想のスケジュールを決めて、実行する。
- ・スマホの使い方を工夫する。(やめると決めた時間にアラームをセットする。アプリを減らす。フィルタリングをかける。)
- ・メディアから離れるために、趣味を持つ。(アウトドアな遊びや読書など)

今後は、生徒会において、三崎中メディアルールを決めて、実行可能な具体的な方法を考えていくこととなります。自分の時間のコントロールをしっかりできる三中生をみんなで目指していきましょう。

